

足元や頭上を妨げそうな公園の木々の勢いに、気持ちの良い新緑の季節真っ只中を感じつつ出勤しています。

現在会員登録数2,945人さま。次号は6月20日発行の予定です／

＋-----◇◆◇ 目次 ◇◆◇ -----＋

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》この本読んだ？

《2》イーハトヴ周遊 宮沢賢治の童話を読破する

《3》読書活動ボランティアのためのワンポイント 105

《4》行って来ました！

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

＋-----＋

■ ----- ■
【1】お知らせ

● 当財団編『ひとりでよめたよ！幼年文学おすすめブックガイド200』が刊行されます

古典作品から新刊書まで、幅広い本を選び、児童文学研究者・学校司書・書店員などが幼年文学の特徴をとらえた作品紹介を書いています。評論社から6月下旬刊行予定です（A5判 272ページ 2,500円+税）。書店等でお求めください。

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いします。

お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

● 当財団公式 Twitter → https://twitter.com/IICLO_News

■ ----- ■
【2】コラム

《1》この本読んだ？ Yasuko's & Takeo's Talk

『徳治郎とボク』 花形みつる/作 理論社 2019年4月 対象年齢：小学校高学年以上

あらすじ：中学生のボクが、頑固なお祖父ちゃん、徳治郎との幼い時から現在までの関わりを回想する作品。四歳のとき、手作りの竹とんぼをもらった記憶から、一緒に山にある畑に行ってお祖父ちゃんの「ちっせえときの

話」を聞かせてもらったこと、お祖父ちゃんが心筋梗塞で手術を受けたこと、帰宅して寿命は半年と言われたにもかかわらず、怒鳴り続けながらも三年間生き続けたことなどが、さまざまな家族の反応とともに鮮明な記憶で語られる。ボクは、お祖父ちゃんがなぜ、こんなに怒鳴るのかを考え続ける。

T：とても新鮮で心に残る作品でした。

中学生のボクが四歳からを振り返るといふなかなか複雑な入れ子構造になっているけれど、それぞれの年ごろの見かたでお祖父ちゃんの様子を描いている点がとてもリアルに感じました。

Y：お祖父ちゃんと犬のシロと畑と一緒に行って「ちっせえいときの話」をせがむボクの様子と、描写から垣間見られるその時のことを少し冷静に見る中学生の視点が絶妙です。中学生の視点があることで、お祖父ちゃんが決してベタベタしないながらもボクのことを思っている様子がひしひしと伝わってきます。

T：お祖父ちゃんが少年時代を語ることで、内向的なボクがあこがれたり、励まされたりして成長していく様子も読み取れます。

ボクの年齢が上がるにつれてお祖父ちゃんへの理解も深まり、母や伯母など周りの人たちから聞くお祖父ちゃんのエピソードも増えて少しずつお祖父ちゃん像がボクの中に作り上げられます。このような描き方も謎解きのようであまいなと思いました。

Y：両親が離婚して、母子家庭になったボクにとってのお祖父ちゃんは父親的存在でもあったと思います。そして、ボクが成長していくにつれて、お祖父ちゃんと過ごすより夢中になることが出来てくるところも書かれていて嘘がない作品だと思いました。

T：お祖父ちゃんは、幼いボクにとってはすぐに怒鳴る怖い人でしたが、だんだん自分の生き方を曲げないプライドを持った人物だということがわかっていきます。そして、ボクは、いとこのエリカちゃんがお祖父ちゃんのそういう側面を受け継いでいることに気づきます。

Y：この作品で一番心に残ったのは、死に近づいているお祖父ちゃんがどうして怒鳴り続け、自分の意志を通そうとし続けるのかをボクが考え続け、はっと気づく場面です。お祖父ちゃんは、一人の人間としての尊厳ある死に方（生き方）を、身を持って家族に見せることで、「生きる」とはどういうことかを示したということが伝わってきました。

T：高齢化社会の日本で、老人の看取りを子どもの視点で描いた新しい児童文学作品だと思います。お祖父ちゃんの畑へ行く道から見える富士山が印象的でした

* 今回のゲストは当財団の宮川健郎理事長（T）です。

《2》イーハトヴ周遊 宮沢賢治の童話を読破する

第45回「飢餓陣営」

反戦への願いを込めて ～〈不生産式体操〉から〈生産体操〉へ～

これまで三回に渡って取り上げた「セロ弾きのゴーシュ」（本メルマガ 102～104 参照）は、音楽をテーマとした作品でした。セロだけでなく、童話創作のためにオルガンも習っていたという賢治ですが、音楽は〈文学殊に詩や童話劇の詞の根底になるものでありまして、どうしても要るのであります〉（大正

15年12月15日付、父宛書簡)とその重要性を述べています。賢治童話の底流に、さまざまな形で歌があるのも首肯できます。

今回取り上げる「飢餓陣営」は、花巻農学校の教員時代、賢治が生徒を指導して上演した戯曲・童話劇です(大正11年9月上演)。

舞台は、マルトン原の臨時幕営地。辛くも全滅を免れたものの、飢餓に喘ぐバナナン軍団の兵士たちは、バナナン大将の帰還を待ちわびていました。やがて戻ってきた大将は、酒に酔い、馬肉を食していたのです。空腹に堪えきれなくなった兵士たちは、大将が身につけているお菓子でできた勲章をすべて食べてしまいます。責任をとって自殺しようとする特務曹長でしたが、大将はそれを許し、〈生産体操〉と名付けた果物を栽培する方法を伝授します。

物語の背景に、大正9年から始まったシベリア出兵を指摘するのは米地文夫です(2015年)。米地は、賢治が郷土を意識し、同郷人を戦場に送り込んだ出兵を痛烈に批判、むしろその戦力で農業生産力を高め、岩手を豊かにすべきとの願いを込めたと述べています。

劇中、バナナン大将は〈生産体操〉が〈従来の不生産式体操と撰を異にする〉と述べています。命を奪う非生産的な戦争より、生命を大事にし、育むことの大事さを語りかけているようです。結末、生産体操による果物を見て、大将は次のように言います。

〈実に立派じゃ、この実はみな琥珀でつくってある。それでいて琥珀のようにおかしな匂でもない。甘いつめたい汁でいっぱいじゃ。新鮮なエステルにみちている。しかもこの宝石は数も多く人をもなやまさないじゃ。来年もまたみのるじゃ。ありがたい。又この葉の美しいことはまさに黄金じゃ。日光来りて葉緑を照徹すれば葉緑黄金を生ずるじゃ。讃うべきかな神よ。〉

重いテーマを扱いつつ、展開や素材をコミカルに仕上げた賢治。農学校教員として、若い命の行く末に思いを馳せていたのではないのでしょうか。(ペ吉)

(本文の引用は、新潮文庫版『新編 銀河鉄道の夜』によりました。)

《3》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 105

その11 さまざまなご質問にお答えします(22) おはなしについて7

質問:「明かりをくれ!」(『おはなしのろうそく30』 スペインの昔話 松岡享子:訳)というお話に、「やもめ女」という表現がでてきます。

- ① やもめ女という表現は子どもたちにわかるのだろうか?
- ② できれば、お母さんが一人で子育てしていることを、子どもたちにわかってもらったうえで、お話を語りたい。
- ③ どうしてやもめになったのかは、このお話からはわからない。
- ④ 類話「この世の光」(『世界の民話⑬地中海』 ぎょうせい)でも「やもめ」が使われている。ひっかかることがあるお話は語らないことにしているのですが、この作品は、心ひかれるものがあり、はじめの「やもめ女」は、そのまま、以降は「女」と変えて語っています。このお話にかぎらず、気になる言葉があったときにはどうしたらよいのでしょうか。

少し長くなりましたが、いただいた質問を少しだけ編集して掲載させていただきました。

この作品は、貧しく住む家のない母と 7 人の息子が小さな村の幽霊が出るという古い屋敷へ行き、「明かりをくれ！」という幽霊の願いを聞くことで、裕福になるというお話です。「やもめ」は、家賃が払えなくなったという経済力のなさを裏付けるものとして使われています。

まず、子どもがわからないということだけであれば、最初に、「むかし、あるところに、貧乏な、夫のいない女、やもめ女がいました。」とすることで、子どもにわかります。

やもめは、男性にも女性にも使われる言葉で、差別用語ではありませんが、「やもめ女」という言葉が何度もおはなしの中に出てくると、状況を説明するというより、夫のいない女というレッテルをはられているように感じられ、私自身はしっくりきませんでした。

この作品は、七人の息子たちが母親に言われて幽霊に明かりを持っていき、幽霊がその明かりで本を読み終わるのを辛抱強く待つところ、そして、幽霊がなぜ、本を読んでいたのかを知るところにおもしろさがあります。その意味では、夫がいない女性であることが最初にわかれば、何度も「やもめ」「やもめ女」を繰り返す必要はないように思いました。そこで、「むかし、あるところに、貧乏な女がいました。女には、夫はいませんでしたが、男の子ばかり、七人の子どもがいました。」のようにすることもできると思いました。

今の目の前の子どもたちに、今を生きる自分が語ると考えた時には、語り手である自分の価値観がどうしても反映されるのは当然だと思われそうです。どこまでならお話の根幹を変えないで語り継いだことになるのか、いつも自分自身が試されているように感じます。

* ぜひ、ご質問やご意見をお待ちしております。(Y)

《4》 行って来ました！

あべのハルカスで6月30日まで開催されている「クマのプーさん展」に行ってきました。英国ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館をはじめとする「クマのプーさん」の挿絵等のコレクション約250点が展示されています。

全5章からなり、第1章は作品が作られるきっかけ、ミルンやシェパードの息子のクマのぬいぐるみなどの展示、第2章はストーリー紹介とともに挿絵の展示、第3章は挿絵やページのレイアウトの工夫から見たプー作品の特徴、第4章は初版本などの本の展示、第5章は世界のプー作品の紹介となっています。

第2章の部分は、プー作品に出てくる階段や木のうろ、橋などの立体物があり、まるで、作品世界に入り込んだ気持ちになりました。舞台となった森の写真も映像で流れており、シェパードの絵と同じだと思いました。

シェパードのオリジナルの鉛筆画は、クリストファー・ロビンやプーやコブタなどの表情が味わい深く描かれていました。特に、クリストファー・ロビ

ンとプーとコブタが橋の上で川をながめている後ろ姿には、悲しみを含めたいろいろな感情が読み取れ、見とれてしまいました。

絵の描き方や構図の工夫も具体例を示してとてもわかりやすく説明されていました。たとえば、イーヨーの体にだんだん雪が降り積もる様子は、同じページにイーヨーの3つの変化を表すことで、時間の経過がわかります。また、穴につっかえたプーを森の仲間がみんなで引っ張る場面は、全く役に立っていない動物たちを描くことで、物語の滑稽さを絵でも表現しているとあり、なるほどと納得しました。

貴重な作品は、一度公開したら、10年間は非公開になるそうです。世界を巡回していることを考えると、おそらく一生に一度の経験だと思いました。(K)

■ ----- ■ 【3】全国のイベント紹介

● 特別展「いきものだいすき！ 薮内正幸の動物画展」

動物画の第一人者として、絵本・挿絵・図鑑・広告など幅広い分野で活躍した薮内正幸の仕事とその生涯を紹介します。

会 期：開催中～6月16日（日）休館日あり

会 場：姫路文学館 北館 （姫路市山野井町）

観覧料：有料

● 資料小展示「幻の児童雑誌『カシコイ』～学年誌が描いた子ども文化～」

昭和7年に創刊された学年別児童雑誌『カシコイ』（精文館）に掲載された貴重な童画の原画を、戦前戦後に出版された数々の学年誌とともに紹介します。

会 期：開催中～6月30日（日）休館日あり 入館無料

会 場：大阪府立中央図書館 国際児童文学館 （東大阪市荒本）

主 催：大阪府立中央図書館 国際児童文学館

協 力：北村好子、行司千絵、京都国際マンガミュージアム、大阪国際児童文学振興財団

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

■ ----- ■ 【4】プレゼント

前号の【1】お知らせで紹介した講演会報告集「ふしぎの描き方ーあまんきみこ&富安陽子の世界」を1名の方にプレゼントします。ご希望の方は、メールで件名「メルマガ NO.105 プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ (5)このメルマガのご感想をお書きのうえ office@iiclo.or.jp にお送りください。

締切は6月10日(月)、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |

— | — | — | — | — | — | — | — | — |

「5月は 自転車月間」。ポスターの文字が目飛び込み、気持ちの良いこの

季節にあわせてうまく設定したものだと、ひとりごちる。エコと、健康増進、交通緩和を基本理念として二年前に設定されたとのこと。スマホに目を落とすのではなく、目の前に広がる新緑を存分に楽しみたい。(T A)

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。

原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

●このメールマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。

●配信の登録・解除・変更は、

http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html パソコンからどうぞ

●このメールの送信アドレスは配信専用です。

●記事の無断転載はご遠慮ください。

発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北 1-2-1 大阪府立中央図書館内

TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp
